第２７９０地区 ROTARY CLUB OF KASHIWA-NISHI

柏西ロータリークラブ

創立：１９７５年１１月　７日
承認：１９７５年１１月２４日

会報 第 2103 号（9 月 18 日発行）

四つのテスト
1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？

ロータリーは機会の扉を開く

第２１３６回通常例会 (2020.9.11)

2020-21 年度　会長：中嶋　利生　幹事：助川　昌弘

■柏西ロータリークラブ URL.http://kashiwa-nishi-rc.com/　■第 2790 地区ロータリークラブ URL.http://www.rid2790.p/2018/

２１３６回通常例会

1. 点　鐘	中嶋利生	会長
1. 会長報告	中嶋利生	会長
1. 幹事報告	助川昌弘	幹事
1. 卓　話	鈴木桂三Ｇ	補佐
1. 点　鐘	中嶋利生	会長

会長報告

会長　中嶋　利生

今日は、米山梅吉翁についてお話ししたいと思います。

生まれは明治元年１８６８年生まれ。鳥羽伏見の戦いが有った年に生まれ、士族出身、昭和２１年に亡くなりました。７８歳でした。１８歳東京英和学院にて英語を習い、後にキリスト教福音会にて英語を習い、２０歳より８年間渡米、２９歳で三井銀行入社、４１歳同行常務、そして５２歳、１９２０年、大正９年東京ロータリークラブ設立、会長になりました。このロータリー設立した時、なんと世界８５５番目の設立でした。米山翁は５６歳の時、三井信託銀行設立と、財界においても大いに活躍された方です。

しかし日本人で最初にロータリアンになったのは、米山翁ではありません。福島喜三次という方です。明治１４年生まれ、昭和２１年米山翁と同じ年に亡くなりました。６５歳でした。彼は三井物産に勤め、２４歳、１９０５年からニューヨークに勤務、ダラスにて三井の支店長になり、１９１５年、３４歳で日本人初のロータリー会員に推挙された方です。この福島氏が入会していたダラスロータリークラブにおいて、二人が出会い日本にロータリーの創設、普及を拡大した、言わば創設者です。東京ロータリー設立３年後、１９２３年、大正１２年大阪ロータリークラブ設立、会長となりました。

二人の超我の奉仕、貢献があったため日本で、東京ロータリークラブにおいて１９５２年、昭和２７年米山記念奨学金が作られました。これがきっかけになり５年後、全国のロータリー共同記念事業になりました。

幹事報告

助川　昌弘

①米山記念奨学会寄付に対して、第 19 回米山功労クラブとして感謝状を受理

Rotary
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
ロータリー日本国内全地区合同プロジェクト

米 山 功 労 クラブ

第 19 回　米山功労クラブ

柏西ロータリークラブ殿

多額のご寄付に対し心から感謝の意を表します
2020 年 8 月

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
理事長　齋藤直美

②第 11 グループ『会長幹事会』の案内
日時：10 月 2 日（金）　18：00 ～
場所：柏商工会議所 403 号室

③地区『三委員会合同セミナー』開催の案内
日時：10 月 17 日（土）13：30 ～ 15：45
場所：TKP ガーデンシティホテル千葉

※三委員会：管理運営 / 公共イメージ / 親睦活動

これからの例会予定

月日	曜日	例会	卓話者・他内容
9 月 25 日	金	通常	ガバナー公式訪問
10 月 2 日	金	通常	湯浅千晶会員・胡経諸奨学生
10 月 9 日	金	通常	落合精一会員
10 月 16 日	金	通常	宇田川博司会員
10 月 23 日	金	通常	吉田朋令会員

例会日／金曜日　12：30 ～
例会場／ザ・クレストホテル柏
〒 277-0842 柏市末広町 14-1
TEL. 04-7146-1111 FAX. 04-7146-2100

事務局／〒 277-0011 柏市東上町 7-18
柏商工会議所会館 505
TEL. 04-7162-2323　FAX. 04-7166-8282
E-mail：kashiwanishi@io.ocn.ne.jp

Rotary

卓　話

第１１グループガバナー補佐　鈴木　桂三　様

今年度のRI会長ボルガー・クナークさんのRIテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。ロータリークラブに入会するということは、ただ入会するというだけでなく無限の機会への招待ですと語っております。私達はロータリークラブに入会しそして各委員会に配属されます。その後各委員会活動や奉仕活動、親睦活動に参加していきます。更に各委員会の委員長、幹事、会長になる時それぞれ新しい扉を開きます。それぞれの機会を如何に有意義なものへとしていくかは個人個人のロータリーへの取り組み方で変わります。

また地区委員会への参加は非常に良い経験になります。ここで私の経験談を話させていただきます。私は28年前にロータリーに入会しました。当時は夜間例会、ゴルフ例会、各委員会活動等非常に多く開かれ、そのあとも２次会３次会に誘われ次第にロータリーイコール親睦を兼ねた飲み会を中心に活動するロータリーライフになっていました。今考えるとロータリーの目的とはかなり外れたものでした。10年も過ぎますと各委員会の委員長そしてクラブ幹事を務め更にクラブ会長に就任した時にクラブにとって重大なことが起こりました。地区指名委員会の森島パストガバナーから直接電話をいただき柏西クラブからそろそろガバナーを出しませんかとのこと、ガバナーを出すことはクラブの発展にはまたとないチャンスだと思い、すぐにパスト会長会議を数回にわたり開き、一部の反対を押し切り中村ガバナーを誕生させることができました。その時中村さんからは地区財団委員会に参加するように言われ、ガバナーを承諾していただいたのに私はNOとは言えません。本当に嫌だったのですが仕方なし引き受けました。まだ会長の任期が半分残ってる１月後半からオブザーバーとして参加しました。地区財団委員会のメンバーは１０人でした。初めて参加した時の印象はとても強烈なものでした。ロータリアンの中にはこんなに真剣にロータリーについて考えている人がいるんだなと愕然としました。これを機に自分も努力して何とかこの仲間についていけるようにと決意しました。私のような遊び人をロータリー財団委員会に推薦して頂いた中村さんには本当に感謝しています。私が何故このようなことを話したかといいますと、たった一枚の新しい扉を開いただけで自分を一変させるチャンスが誰にでもありますよと言いたかったのです。皆さんも与えられた機会の扉を開いて自分磨きのチャンスにしてください。

さて今年度の漆原ガバナーは地区スローガンとして「クラブが主役となり奉仕の実践を」と掲げております。今年度は日本に最初のロータリークラブが誕生してからちょうど１００年に当たります。日本のロータリーの歴史の中で、まさに節目の年であり、それ故、ロータリーの原点に戻りロータリーの目的に合う奉仕の理念の実践に力を入れましょうと語っております。歴代のガバナーを見てもこれほど熱心に奉仕の理念の第一歩であります寄付について呼びかけている方はおりません。

それでは具体的に奉仕の理念の実践とはどういうことしょうか、国際ロータリーは個々のクラブの集合体です。そしてロータリー財団の正式名称は国際ロータリーのロータリー財団であります。国際ロータリーとロータリー財団は組織が違ってもその目的、使命、活動は一体のものでありワンロータリーと言われる所以でもあります。それぞれの運営費は、RIは世界中の加盟クラブの人頭分担金（年間６５．５ドル）と国際大会の登録料等で運営されており、ロータリー財団は年次寄付の運用益で賄われております。しかし２００８年秋に起きたリーマンショッククラスの金融危機に備えて２０１５年７月より年次寄付の5%までが運営費に充てられることになりました。この支出は国際財団活動資金WFからの支出になります。ロータリーは奉仕団体です。そして奉仕活動の実践を担うのがロータリー財団（TRF）です。ロータリーが奉仕活動をするためにはどうしても活動資金が必要です。その資金となるのがロータリアンとその賛同者から寄せられた寄付のみによって支えられております。誰も寄付をしなければロータリーは奉仕活動ができません。ロータリーの存在意義すらなくなってしまいます。ロータリークラブとは各人の個人生活、職業生活及び社会生活において奉仕の理念の実践を基盤とすることに同意した事業及び専門職務に携わる人々の集まりだとあります。簡単に言えばロータリークラブとは毎日の生活において奉仕の理念を実践しようとする人々の集まりであります。

ここでロータリーの言う奉仕の理念とはどういうこと

でしょうか。ロータリークラブは世界の２００以上の国と地域に広がり、その会員数は１２０万人余り、クラブ数は３万５千余り、まさにグローバルな奉仕団体です。そこで私たちも自分の国や地域だけでなく、もっとグローバルな目で世界を見つめる必要があります。ロータリーの最終目標は世界親善、世界理解そして世界平和の達成です。世界中には毎日の食料に事欠く人、きれいな水を利用できない人、戦争や迫害等によって住む場所を失い非常に不衛生で過酷な環境で生活している人々が沢山います。私達ロータリアンはそういう人々のことを思いやり、ただ思いやるだけなら誰にでもできます。一歩進んでそういう人々の役に立つことをするというのが、ロータリーでいう奉仕の理念の実践です。ロータリーの第一標語は超我の奉仕です。自分のことはそこそこに世界中で最低の生活をしている人々のために如何に助けになることができるかどうかです。誰でも自分の事が一番大事です。しかしながらロータリーの奉仕の理念では他人のためにいかに尽くすことができるのかが大事です。これがロータリーの奉仕の哲学です。利己と利他のバランスをとった生活をすることが重要です。そしてロータリー財団の標語は世界でよいことをしようです。

それでは次にロータリー財団への寄付の種類についてみていきます。寄付は大きく分けて４種類あります。第一に年次寄付です。使途を決めないロータリーではごく一般的な寄付で毎年一人１５０＄以上をお願いしております。第二にポリオプラスへの寄付です。ポリオの根絶はロータリーの最優先事項でありポリオが根絶されるまでは他のいかなる奉仕活動より最優先されます。毎年一人30＄以上をお願いしております。第三に恒久基金への寄付です。この寄付は歴代会長さんが慣例で任期中に１０００＄の寄付をしてベネファクターになっていただいておりました。しかし今でも続けているクラブは１１グループでは柏と柏西だけです。他の３クラブもぜひ復活させて頂きたいと思います。恒久基金の元本はそのままでその運用益だけを奉仕活動に使います。２０２５年までに２０億２５００万＄を集めることを目標にしております。年次基金と恒久基金の違いを、バース元 RI 会長は「年次基金は毎日庭に水をまき花々に水分を供給するようなものです。恒久基金はいつでも水がまけるよう十分な水を用意している貯水池のようなものです」。最後にその他の寄付です。グローバル補助金への現金寄付とか冠名基金への寄付等があります。

皆さんから集められた寄付のうち、３年間運用された年次寄付と恒久基金寄付の運用益だけがシェアシステムで国際財団活動資金と地区財団活動資金に 50％ずつ分けられます。そして DDF は更に地区補助金とグローバル補助金に 50％ずつ分けられ地区補助金は財団の使命に当てはまる活動を支援するために使われます。グローバル補助金はロータリーの７つの重点分野 (今年度から環境の保全が追加されました) に該当し持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動に使われます。私が入会した頃のシェアシステムは DDF に６０％ WF に４０％分配されていましたが２００６年～２００７年度より５０％が DDF に残りの 50％が WF に分けられ、そしてそのあと３年間の未来の夢計画を経て２０１３年７月１日より現在のシステムになっています。私が入会時には地区の財団委員会の裁量で自由に使える地区財団活動資金は全体の６０％、２００６年７月からは５０％、さらに２０１３年７月からは 25％に削減されました。その要因は DDF の使い方に問題がありました。例えば公園などへのベンチや遊具の設置や花壇の整備スポーツ大会や音楽祭の協賛等その場限りの支援やロータリーの目的にそぐわない活動が多かったからではないかと推測されます。地区補助金はロータリアン一人ひとりから寄せられた大切な浄財です、何か安易に活動すれば良いという話ではありません。R 財団の使命目的に当てはまる活動を支援するために使用してください。

ニコニコＢＯＸありがとう！

☆パートナー誕生日　浅野会員

☆（^^ ♪

安田会員　親睦委員会の柏一茶庵ご利用のお礼

住田会員　クラスターも起こさずに、娘の結婚式が無事終わりました

出席報告

会員数	６１名
欠席者	９名

江口、落合、小林正直、小林太時、小溝、東海林、鈴木一弘、住吉、松本隆一郎会員

出席率　85.25％

次回の例会は９月25日 (金) 通常例会です。

クラブ会報委員／齋藤敏文、東海林康之、秋元慶一、大久保文宏

卓話・会報の原稿は kwrc.photo@gmail.com までお送り下さい。

欠席報告は、木曜日の午前中まで

※ LINE グループ「柏西ロータリークラブ」

※柏西ロータリークラブ事務局「04-7162-2323」

☆事前に欠席が分かる方は SAA にお知らせ下さい

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。

2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。

3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。

4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。

5. ロータリーの会合、行事、活動においてハラスメントのない環境を維持し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないようにする。

Rotary